

## 2022年度 NPO法人アクションおっぱまの事業

2022年度の活動をミニアルバムにしました

### (1) 第三海堡遺構の一般公開

2022年度当初は、まだ新型コロナウイルス感染が懸念されていましたが、徐々に活動を再開し、第三海堡遺構の公開も順調に進みました。毎月第一日曜日の一般公開日の見学者は434人、団体は2団体（28人）。「わい！フェスタおっぱま」やアイクルフェアでの協賛公開も再開し、特にわい！フェスタおっぱまでは、人数を数えられないほど多くの見学者、特に家族連れが来られました。久しぶりのコスプレ団体もあり、非日常の空間を楽しんでいました。



わい！フェスタおっぱま



コスプレ団体の見学

### (2) 貝山地下壕の見学ガイド

2021年度から始まった貝山地下壕の見学ガイドは、順調に見学者を増やしてきました。ホームページで募集する企画ツアーが6回（87人）、団体が6団体（45人）でした。10月には、元台湾少年工として海軍航空技術廠で働いていた東俊賢さんが、講演の合間に立ち寄られ、92歳という高齢にも関わらず熱心に当時の模様を語って下さいました。



貝山地下壕入り口



貝山地下壕内部



当時の模様を語る東俊賢さん



みんなで記念撮影（中央が東さん）

### (3) 湘鷹みんなの部屋壁画制作への協力

湘鷹みんなの部屋のある建物に壁画を描きたい、できれば関東学院大の学生たちと一緒にできないだろうかとのご相談が、会員の方から寄せられました。そこで、関東学院大学学学生生活課を通して美術部の学生たちを地元で紹介し、そこから共に壁画を制作するプロジェクトが始まりました。プロジェクトを進める上では、地元にも学生の側にもいろいろ困難があったとのことですが、それらを乗り越えて無事に壁画は完成し、1月22日にお披露目式が執り行われました。

壁画の作成にあたり、学生たちは、まず湘南鷹取のまちや湘鷹みんなの部屋の活動について知ることに始めたとのこと、地域と学生たちの思いの詰まったモチーフで構成された壁画が出来上がりました。



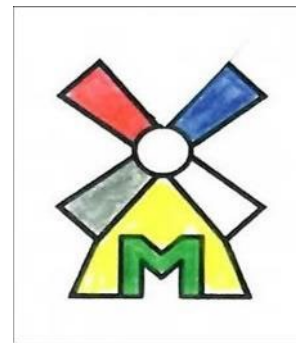
建物左の壁に壁画を描く



完成した壁画とお披露目式



お披露目式の獅子舞



みんなの部屋のシンボルマーク

### (4) こみゆに亭カフェでのイベント

2022年度は、4月18日に春のワゴンセール、10月17日に秋のワゴンセールを開催しました。年ごとに道を通る人が少なくなっているのは残念ですが、「私のこみせ」で手作り品を販売している方々には、直接お客様と触れ合う場として、道を通る方々にはこみゆに亭カフェを知っていただく機会として親しまれてきたイベントです。



春のワゴンセール



秋のワゴンセール